

～ 新たな移動の選択肢で誰もが移動しやすいまちへ ～ 「歩行領域モビリティ社会実験」を開始します！

横浜市では、高齢化の進展や多様な移動ニーズへの対応に向けて、市民や来街者の移動の選択肢を拡充し、誰もが移動しやすいまちづくりを進めています。

このたび、交通結節機能が高い鉄道駅や公共駐車場の周辺において、既存のシェアサイクルに加え、歩行領域モビリティ※1を利用できる社会実験を開始し、シェアモビリティポート(※2 裏面参照)の形成を目指します。(※1 時速6km以下で歩道を走れる電動モビリティ)



< 歩行領域モビリティの例 >

1 社会実験の概要

実施期間

令和8年10月5日～令和9年3月31日

※利用状況や利用者ニーズ等を把握・検証しながら継続的に改善・展開していきます

実施箇所

3箇所(桜木町駅・関内駅・日本大通り)

※詳細は裏面の

「3 歩行領域モビリティポートの設置場所」を参照

想定する主な利用者

高齢者及び一時的な歩行困難者 など



利用方法・料金体系

アプリで予約・利用・返却

▶ご利用には専用アプリをインストールください



アプリの
ダウンロードは
こちらから



▶返却先は借りたポートになります



12時間まで無料

▶12時間を超えて利用した場合は
遅延追加料金(車両回収費用)として
12時間ごとに5,000円(税込)が発生

2 社会実験の特徴

I 移動の新たな選択肢

歩行領域モビリティを新たな移動手段として導入し、高齢者等の移動負担を軽減します。

II 鉄道・自動車と連携

交通結節機能が高い鉄道駅や公共駐車場の出入口付近にポートを整備し、公共交通等との円滑な乗り継ぎを促進します。

III まちの回遊性向上

移動の選択肢を広げ、移動自体が魅力となる回遊性が向上し、まちのにぎわいを創出します。

IV データの取得・効果検証

利用実態やニーズ等のデータを取得し、事業効果や今後の展開に向けた課題を検証します。

裏面あり



GREEN X EXPO 2027
YOKOHAMA JAPAN

2027年国際園芸博覧会 2027年3月～9月 横浜・上瀬谷

3 歩行領域モビリティポートの設置場所

◆ 桜木町駅周辺



◆ 関内駅周辺



◆ 日本大通り地下駐車場



※詳細は社会実験開始後にアプリでご確認できます。

※2 「シェアモビリティポート」とは

シェアサイクルや歩行領域モビリティなど複数の移動手段を組み合わせることで、最終目的地までの移動の選択肢を広げる新たな移動基盤です。



横浜市では、交通結節機能が高い鉄道駅や公共駐車場等を中心に、利用者の動線を踏まえた多様なモビリティに対応したポートをエリア全体で「群」として配置・形成することで誰もが移動しやすいまちづくりを目指しています。

お問合せ先

(社会実験全般について)	横浜市道路・交通政策局道路政策課長 金澤	Tel 045-671-2282
(歩行領域モビリティの運営について)	OpenStreet株式会社 広報担当	E-mail pr@openstreet.co.jp



GREEN x EXPO 2027
YOKOHAMA JAPAN

2027年国際園芸博覧会 2027年3月～9月 横浜・上瀬谷

